

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【2班】

地区コミ	上手地区コミュニティ協議会	参加人員	34人
開催日時	平成25年 5月24日（金） 19:00 ～ 21:00		
開催場所	上手地区コミュニティセンター		
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当
	佃 昌樹	○	市政報告
	大田黒 博	○	司会進行
	井上 勝博	○	記録・報告書作成
	議員名	出欠	担当
	今塩屋 裕一	○	
	下園 政喜	○	

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 国は、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への交渉参加を急いでいるが、市議会議員としてどう考えておられるか。

《意見交換の概要》

- ◇ 3回の意見書を提出してTPP参加には議会として反対してきた。
- ◇ TPP参加反対で力をふりしぼる必要がある。
- ◆ 薩摩川内市への影響は。
- ◇ 民主党政権のときの市の試算では33億円。さらに関連産業への影響もある。
- ◆ TPPに参加しなかった時のデメリットはあるのか。
- ◇ TPP参加のデメリットがはるかに大きい。

《主な要望等》

- ◆ 農業が頼みの地域なので、TPP参加はとんでもない。反対して欲しい。

2 空き家対策について市周辺部の急激な人口減を食い止める施策について、議員として、かねてから考えておられることはないか。

《意見交換の概要》

- ◇ 空港に近いという地の利を生かしてベッドタウン化できないか。
- ◇ 打出の小槌はない。企業誘致や農業振興など地道にやるしかない。
- ◇ 富士通の撤退などダメージ。マキオを誘致できないかと考えている。
- ◇ 支所・学校を残し、まちおこしの拠点に。若者のアイデアを引き出す。農林業の振興。
- ◆ 若者は団地よりも一戸建て住宅を好む。家賃を2～3万円程度に抑えられないか。
- ◇ 穀物の自給率を高める努力を政府がしてこなかった。過疎化が進む原因。政治を変えよう。
- ◇ 派遣社員などの制度が若者が結婚できない社会にした。政治の問題は大きい。
- ◇ 市営住宅の家賃をもっと安くすべき。
- ◇ 国際結婚の促進、コミュニティとして婚活パーティを開くなどやったらどうか。

《主な要望等》

- ◆ 市営住宅は、一戸建てを安い家賃にして若者を呼び寄せて欲しい。

3 県道薩摩祁答院線の改良について

《意見交換の概要》

- ◆ 県の振興局が前向きに善処するとのこと。後は地主との交渉。

《主な要望等》

- ◆ 後は地主との交渉なので議員に対しては特に要望なし。

4 その他

《要望等》

- ◆ 支所長の権限はあるのか。祁答院の人口減少は激しい。支所は絶対に廃止しないで夢のあるまちづくりを示してほしい。
- ◇ 市長は、住民の抵抗があつて支所廃止の方針を引っ込めたが、諦めたわけではない。
- ◆ 祁答院支所は、原発事故のときに防災拠点になるはず。支所廃止はありえない。
- ◇ 市長が支所廃止方針を引っ込めたのは住民の声があつたから。確信をもって声をあげよう。
- ◆ 市長は、支所廃止を任期中にやると言っている。産業建設関係の部門は残して欲しい。